

GIGAスクール

at KIYAMA

～基山町教育委員会からのお知らせ～

Chromebook

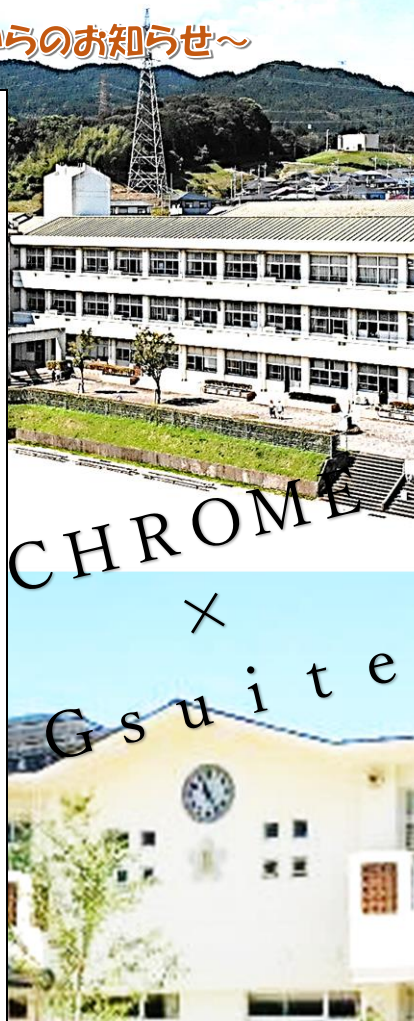
を導入します

Chromebook とは、システムを動かす基本ソフトである OS に Google が開発した「Chrome OS」を採用したノートパソコンのことです。ネット検索をはじめ、動画視聴、書類作成、画像編集など、大半の作業をウェブブラウザの「Chrome」上で行うのが特徴です。

データの保管には Google が運営するクラウドストレージの「Google ドライブ」を使用。Chromebook の内蔵ストレージ（本体）にデータを常時保管しておく必要がありません。

また、OS の更新やパソコンの起動の早さについて、手間と時間がかからず、学習用パソコンとして最適な環境といえるでしょう。

Chromebook の紹介は
こちら→



GIGA スクール 構想とは

GIGA スクール構想とは文部科学省がこれからの学校教育のスタンダードとして、1 人 1 台コンピュータ端末を持つ環境と高速大容量の通信ネットワーク、さらにクラウド活用を備えて「子どもたち 1 人 1 人がクラウド活用を前提とした学習環境」を持続的に実現しようとするものです。この構想に基づいて基山町においても ICT 利活用教育を展開しています。来年度の本格運用をめざし、1 人 1 台のコンピュータ端末を整備します。

紹介動画

はこちら→



G suite for education

を活用します

G Suite for Education はオンライン授業からグループワーク、レポート提出まで、ウェブブラウザの「Chrome」を通して、活動を行います。導入時にひとりひとりのアカウントを発行します。試行期間後は家庭学習にも活用することができます。

G Suite for Education の紹介はこちら→



《Chromebook×Gsuite for education の決定の経緯》

文部科学省「GIGA スクール構想」の標準仕様をもとに教育委員会、現場の意見を取り入れるために小中一貫教育における ICT 部会（各校代表）、校長会等での協議を行い、次のような視点で決定をしました。

- ・各学校で高速大容量の通信ネットワーク回線を配備することを前提とし、ソフトウェア等も端末に保存せずにクラウドベースでの活用ができること。
- ・OS の更新が自動で行えること。
- ・学習用パソコンとしてのセキュリティ対策が十分取れること。
- ・起動時間が短く、授業活用時になるだけ支障が出ないこと。
- ・無償で提供される G suite for education を最大限活用できる端末であること。
- ・設定費用やランニングコストが安価であること。

“すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも”使えるICT

🌱 検索サイトを活用した調べ学習

- ・一人一人が情報を検索し、収集・整理
- ・子供たち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する



🌱 文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

- ・子供たち一人一人が考えをまとめて発表
- ・共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合い



🌱 一斉学習の場面での活用

- ・誰もがイメージしやすい教材提示
- ・一人一人の反応や考えを即時に把握しながら双方向的に授業を進める



🌱 一人一人の学習状況に応じた個別学習

- ・デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化
- ・様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う



“1人1台”を活用して、教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。

🌱 国語

書く過程を記録し、よりよい文章作成に役立てる

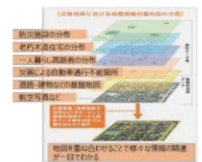
- ・文書作成ソフトで文章を書き、コメント機能等を用いて助言しあう
- ・文章作成ソフトの校閲機能を用いて推敲し、データを共有する



🌱 社会

国内外のデータを加工して可視化したり、地図情報に統合したりして、深く分析する

- ・各自で収集したデータや地図を重ね合わせ、情報を読み取る
- ・分析した情報を、プレゼンソフトで、わかりやすく加工して発表

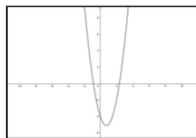


(国土交通省HPより引用)

🌱 算数・数学

関数や図形などの変化の様子を可視化して、繰り返し試行錯誤する

- ・画面上に表示した二次関数のグラフについて、式の値を変化させて動かしながら、二次関数の特徴を考察する
- ・正多角形の基本的な性質をもとに、プログラミングを通して正多角形の作図を行う



🌱 理科

観察、実験を行い、動画等を使ってより深く分析・考察する

- ・観察、実験を動画等で記録することで、現象を科学的に分析し、考察を深める
- ・観察、実験のレポートやプレゼンテーション資料などを、写真やグラフを挿入するなどして、一人一人が主体的に作成する



🌱 外国語

海外とつながる「本物のコミュニケーション」により、発信力を高める

- ・一人一人が海外の子供とつながり、英語で交流・議論を行う
- ・ライティングの自動添削機能やスピーキングの音声認識機能を使い、アウトプットの質と量を大幅に高める



よくある質問

Q. 学校用パソコンは家庭に持ち帰るのでしょうか？

A. まずは、試行期間として学校内での運用を考えており、本格運用では家庭でのパソコンを用いた学習も想定しております。本格運用の際に、パソコンの持ち帰りや家庭でのインターネット環境、持ち帰りのルール等も含めて、ご家庭にお示しした上で、家庭での持ち帰り学習を実施いたします。

Q. 授業中に学習用パソコンが壊れてしまった場合は、パソコンを使う学習はどうなりますか？

A. 各学校に配備する代替用の学習用パソコンを貸し出しますので、学習活動に支障はありません。

Q. 学習用パソコンを壊してしまった場合の費用負担はどうなるのですか？

A. 通常の範囲であれば、修理費用は基山町が負担します。

ただし、「故意」または「過失」による故障の場合は、本人（保護者）負担になります。パソコン貸受申請とともに、保険のご案内等を行いたいと考えています。